

自己評価チェックシート①【基本の項目 保育の環境】 7月、10月実施

- ① 基本項目の項目ごとの・（平均点）分布を見るとわかるように、5・6・10などの服務規律に関わる評価に比べ、保育理念・課程などが低いです。これは例年とおりの傾向です。
- ② 同じように9の今日的な情報と22の散歩ルートの確認は、例年より厳しいチェックが入りました。研修などで話題にすると取っかかりができそう。

基本項目

	4.0	3.5	3.0	2.5	平均
1 保育園の掲げる理念を理解して、その実現に取り組んでいる			●		2.9
2 保育園の保育課程を把握している。			●		2.9
3 指導計画に基づいた保育環境を設定している。			●		3.1
4 指導計画に基づいた保育活動を実践している。			●		3.2
5 組織の一員として、上司(園長、主任)の指示に従っている。		●			3.7
6 業務上知りえた個人情報など、秘密を守っている。	●				3.9
7 公私を問わず、保育者としてふさわしい態度をとっている。		●			3.4
8 常に健康に留意して、病気やけがの予防をしている。		●			3.5
9 新聞、テレビ、書籍などで保育に関する情報を集めている。			●		3.1
10 出勤時には連絡事項などを確認し、仕事できる体制を整えている。		●			3.7
4.3~3.3					

物的保育環境

	4.0	3.5	3.0	2.5	平均
11 子どもの発達に即した遊具や道具、食具をそろえている。			●		3.3
12 季節や文化を感じることができるよう保育室にしている。			●		3.1
13 長時間、落ち着いて生活することができる空間を設定している。			●		3.2
14 真っ暗にしない、静かにするなど、休息時の環境を整えている。		●			3.7
15 障害物、落下物など、保育室内の危険物への対策を講じている。		●			3.6
16 室温、湿度、通期など、保育室の環境を整えている。		●			3.5
17 遊具や道具、トイレや手洗い場などを清潔に保っている。		●			3.6
18 緊急時の避難経路、避難場所を確保している。		●			3.5
19 使用済みの道具や時間の経過した掲示物は片づけている。			●		3.3
20 共有スペースの整理整頓、清掃を行っている。			●		3.4
21 散歩など屋外活動の場所は、子どもの発達に即して選定している。			●		3.3
22 散歩先や散歩ルートについて、事前に安全を確認している。				●	2.9

自己評価チェックシート② 【保育へのかかわり】 8月、11月実施

- ① 人間的保育環境ということで、項目間のばらつきは小さいものの平均点が3～3.5の範囲と他のチェックシートに比べやや厳しいです。
4・17・19は常に意識しているための自己反省でしょうか。

② この集計からは見えませんが、2回のチェックで評価が上がった項目とその逆があります。個人内評価の違いについて振り返ることも、

人間的保育環境		4.0	3.5	3.0	2.5	平均
1	すべての子どもに対して愛情を持ち、言葉や態度で伝えている。		●			3.6
2	あいさつや言葉づかいなど、子どもたちの手本になっている。		●			3.4
3	子どもの主張や表現は、きちんと聞いて受け止めている。		●			3.6
4	子どもをせかしたり、静止したりする言葉をむやみに使わない。			●		3.0
5	一方的な指示や制限で子どもを動かすような保育をしていない。			●		3.3
6	身体的、精神的な苦痛を与えることによる叱り方をしていない。		●			3.6
7	子どもの前で、友だち、親、職員などを批判する言動をしていない。		●			3.6
8	目の前の子どもだけでなく、視野を全体に広げて行動している。		●			3.5
9	子どもの個々の発達や性格を理解して個々に合わせて接している。			●		3.3
10	登園時間や就寝時間など、子どもの生活リズムを把握している。			●		3.1
11	子ども体験、経験の幅を広げるような活動を考えている。			●		3.2
12	子どもの興味を引き出し、想像力を阻害しないようにしている。			●		3.3
13	子どもが自分で考えたり、挑戦したりする時間を保障している。			●		3.3
14	担当でなくても行事の目的を理解して、参加するようにしている。			●		3.4
15	食事やおやつを楽しんで食べる雰囲気をつくっている。			●		3.2
16	けんかを含めて、子ども同士のやり取りを大切にしている。		●			3.6
17	子どもたちが協力して物事を進める機会を十分保障している。			●		3.1
18	ルールやマナーなどが身に付くような働きかけをしている。		●			3.5
19	異年齢児童や担任以外の大人と交流する機会を設けている。			●		3.1

自己評価チェックシート③【保護者への対応 職員の連携】 9月、12月実施

- ① 保護者対応は他のシートに比べ、例年高い評価がされています。そんな中で12・13が例年厳しめの評価です。懇談会報告は、特記事案だけでなく、関心の高かった内容や困りごとの傾向も共有したい。
- ② 職員の連携では学ぶことや受容することは意識できているものの伝える発言するはやはり低いです。会議の形態などを工夫したい。

保護者対応

4.0 3.5 3.0 2.5

1	保護者の安心と信頼を得ることを常に意識している。			●				3.6
2	保護者に対して、常に信頼と慰労の気持ちを持っている。			●				3.6
3	子どもへの興味、関心が高まるような働きかけをしている。				●			3.3
4	家庭それぞれの育児方針を理解し、尊重している。				●			3.3
5	家庭それぞれの事情について、善悪で判断しないようにしている。			●				3.6
6	保護者に対して、否定的、批判的な言動は取らないようにしている。			●				3.5
7	保護者や家族のプライバシーはむやみに詮索しないようにしている。			●				3.6
8	パートナーとして、相談しながら課題解決を図るようにしている。				●			3.4
9	要望や提案、苦情などは素直に受け止めている。			●				3.7
10	要望や提案、苦情などは放置せず、迅速に対応するようにしている。			●				3.7
11	ルール違反や迷惑行為については、毅然と対応するようにしている。				●			3.3
12	保育方針や活動内容への理解を深めるような働きかけをしている。					●		3.1
13	個人面談では保護者が知りたいことを意識している。						●	2.8
14	親しみを込めた挨拶や会話を自分から積極的に行っている。			●				3.7
15	会話や連絡帳などから、保護者の気持ちを読み取るようにしている。					●		3.3
16	読み手の立場にたって、お便りや掲示物を作成している。						●	3.0
17	文書作成では、誤字脱字や不適切な言葉がないように見直している。					●		3.2

職員の連携

4.0 3.5 3.0 2.5

1	同僚に対して常に感謝の気持を忘れないでいる。			●				3.7
2	同僚の人間性や保育観を否定せず、受け止めるようにしている。			●				3.5
3	他クラスや他部署のことでも、自分のこととして考えている。				●			3.2
4	必要事項について、報告、連絡を必ず行っている。			●				3.7
5	困難なことについては、抱え込まずに相談するようにしている。				●			3.4
6	相談を受けた時は、相手の思いや立場を尊重するようにしている。			●				3.6
7	同僚の保育方法などを見て、積極的に学ぶようにしている。			●				3.6
8	年齢や経験、立場によらず、意見や疑問をぶつけるようにしている。					●		3.1
9	意見の相違については、落ち着いて客観的に考えるようにしている。					●		3.3
10	自分に対する指摘や指導を前向きにとらえるようにしている。			●				3.6
11	日々の勤務表を見るなど、他クラスや他部署の状況を確認している。				●			3.3
12	自分の長所が役立つように、積極的にアピールしている。						●	2.7
13	自分の短所をフォローしてもらえるように協力を仰いでいる。					●		3.1
14	会議や打合せでは、主体的に発言するようにしている。						●	2.7
15	研修などで身につけた知識や技術を広く伝えようとしている。						●	2.8
16	連携を密にすることで、業務の効率化、時間の活用を図っている。					●		3.2
17	職場の環境、労働環境の改善に、主体的に取り組むようにしている。						●	2.8